

「ねりまシニアネットワーク」は、毎年開かれるねりまシニアセミナーの参加メンバーを主体にしたつぎの15団体で構成するシニアの交流組織です。

ねりまシニアクラブ・よんき会・五友会・睦会・菜々会・八展会・メロウ メイツすばる・いちごの会・ELF (エルフ)・トリトンねりま・ひとみ会・虹の会・楡の会・まるく会・楽友会

ねりまシニアネットワーク 会報/NSN第29号 2010年7月24日発行 発行責任者/山本 雄一

NSN 新副会長に

渋井氏と三谷氏の2人を選任

このたび、6月26日開催の連絡会で、各会の会長のうち連絡会の経験の長い2名の方、睦会会長・渋井良郎さん、八展会会長・三谷昌史さんにNSNの副会長をお願いすることにしました。会長業務の補佐と、必要が生じた時に会長を代行していただくこととなります。NSNの副会長は各会の会長がその任にあたるというのが設立当初からの慣習でしたが、15団体にもなった現状ではこのルールを改定すべきだという提案が連絡会であり、具体案は会長一任となったのを受けて、今回上記のように決定し、連絡会の承認を得ましたので報告いたします。(山本)

新同期会 楽友会 誕生

第17回ねりまシニアセミナー参加者を中心とした新同期会が結成の運びとなりました。

5月15、16日のセミナーの後、2回の準備会を経て、このたび**24名**(男性12名・女性12名)の参加で、名称を「**楽友会**(らくゆうかい)」とし、7月3日に石神井公園ピアレスで立上げ総会を開催しました。

“**楽しい仲間づくり**”をモットーに活動を進めようと、会長・竹田光夫さんを始め9人の役員を選出しての船出となりました。

まずは、8月のサマーフェスティバルがデビューとなりますので乞うご期待!(五十嵐)

‘10サマーフェスティバルに

みんなで参加しよう!

練馬区役所地下1階のホールで、8月8日(日)13時30分開会のサマーフェスティバルは準備も大詰め。今年も楽しいプログラムで皆さんをお迎えしようと、関係者は張り切っています。NSNの会員みんなが顔をそろえて交流できる年に一度のお祭りです。

新顔が24名も加わる中で、今年はどうな“出会い”が待ち受けているか。新たな友達と何人めぐり合えるかは、それぞれの皆さんの積極的な参加意識にかかっています。**あなたの参加を心待ちしている人もいます。**この機会を生かして、ぜひこれからの友人を見つけ出しましょう。

秋のバス旅行は湯沢に決定

恒例のバス旅行、秋は仲間と紅葉狩りを楽しみましょう。今年の行き先は越後湯沢方面と決まりました。実施日は11月18日(木)。往路の聖酒造見学に続き、東映ホテルでの昼食・団欒・カラオケ、そして温泉三昧。その他オプションとして、付近の不動尊、滝巡りや、160人乗りの大型ロープウェイからの湯沢大展望、山頂の高山植物園、焼き物体験工房、湯沢歴史民俗資料館、地元の名産品を集めた物産館など、秋のお楽しみ満載のバスツアーです。くわしくはチラシを配布いたしますので、お申し込みください。

ユニークさが光るこれからが楽しみ！

ノッケからの“つぶやき”で恐縮ですが訪問して初めて、当会の運営の多彩さに驚きました。外から見えていたこれまでの印象とは異なる姿が垣間見えた一瞬でした。4年間で交代した前会長・角地徳久氏の理論と思いが生かされ、それに重ねて、自称『外で遊ぶこと大好き人間』の新リーダー・田中正一会長の前向きな言動と、それを支える役員・編集協力者を始め会員の積極的な協力姿勢には、目標にとらわれないこれからのシニアの会を形づくるモデルとも言える要素が多分に含まれていると言えそう。

その1 みんながやる気

毎月ひらく役員会の運営会議・編集広場で具体的な1～3ヵ月の活動を確認していくが、今年度から年間計画でアンケートに基づいた各月の行事予定とその担当者を数人ずつのグループで割り当てていくので、早い時期から担当者が実行検討に入り、固めていく。少ない人数の各グループが交代で進めるので年間でも出番は数回となり、自分の番が来れば、みんなやる気で参加している。

その2 バリエティ豊かな発想

今年4月現在、会員数は23名(男8・女15)の構成。近い将来、女性会長体制に移行か？実はタレントが大勢いる。本格的な歌の名人、カラオケ師範、詩吟、現役の保母さん、人形劇、イラストレーター、百名山の達成者、太極拳の講師、玉簾、ハーモニカをくわえてギター演奏(この人は年間100回も施設をめぐり、練馬区善行表彰；5年間で500回ボランティア演奏)、シニアの水泳大

会入賞者、和菓子作り、ゴルフのホールインワン2回の女性、町内会の副会長、民生委員などなど、皆さんが何かやっている。だから企画も幅広く、今年のアナウンスからの計画書案も盛り沢山。練馬区の散策では武蔵野音大楽器博物館、日大資料館、ガイド付き練馬のねり歩きなど、さらにNHK放送博物館、横浜巡り、工場見学、ニコライ堂、からくりミュージアム、日本科学未来館、阿佐が谷ジャズストリート。インドア企画では、コントラクトブリッジ、麻雀大会、絵手紙、社交ダンス、歌声喫茶、浅草演芸館、など目白押し。花見は梅・桜・藤・萩と、湯島から湯河原まで。忘年会も手が込んでいる。行事に悩むこと等よその話、時間が足りないほど。虹の会や楡の会との交流(料理教室、芋煮会)も活発だ。

その3 情報第一主義

NSNの会で会報を定期的に出しているのは1/3程度。ほとんど隔月発行だが、当会では毎月発行、2頁(A4版1枚の表裏)。たまに2色かフルカラーの時も。中身は最新の情報を盛り込んでいるので新鮮。計画解説から実施報告が多いが、これは数人の編集協力者で支えられている。もちろん、NSN情報や他の会のオープン参加呼びかけの対応も。地域活動や生活の情報までも適宜織り込んである。この編集がすごい。3段組をベースに小さい字がぎっしりだが、見出しもシャレてすっきりしている。カットや写真がうまく配置されて見やすく、とても素人の業ではない。(庄村)

第1回サマーフェスティバル 思い出とその意義

メロウ・メイツ すばる 会長
伊東 明彦

参加者全員が全員みんなとタッチでお別れの挨拶が続いている。出口付近には山本会長達が長い列を待ち受けている。最高潮に盛り上がった第1回サマーフェスティバルは楽しさの余韻を残して今幕を閉じようとしている。そしてこの夏祭りの企画をNSNのアンケートに依って提案し、自ら司会を務めた私自身も感慨深いものがあった。

第1回サマーフェスティバルは平成15年8月9日(土)、練馬区役所の地下にある多目的ホールで行われた。当日は台風10号が迫る中、少々出足が心配されたが、多くの会員が集い、熱気すら感じた。

初回にしては手際よく「歌で始まり、歌で終わる」というタイムテーブルに従いソフトなムードで進行、クラシックアコーディオン奏者の三浦みゆきさんによるドイツ仕込みのすばらしい演奏や、テーブル対抗のゲームなどで大いに盛り上がった。ほどよいお酒の後の雰囲気は上々で、各テーブルでは異なる団体間の談笑がさらに弾んでいた。

これまでNSNの行事としては、春に「ねりまシニアセミナー」があり、秋にはバス旅行もあった。しかし、この夏祭りの特長は、傘下の全会員に“団体の垣根を越えて、互いに交流できる場”を提供したことである。それが小さなテーブルを囲む一つであったとしても…。

少し大袈裟な表現をお許し願えるなら、「ねりまシニアネットワークに参加する全団体の名前も顔も知らない仲間達が、この日初めて心をつなげた記念すべき日」であり、その意義は大きかったと思う。

あれから7年経ち、すっかり恒例行事として定着した感のあるサマーフェスティバルだが、関係者各位の年ごとのご努力にもかかわらず、マンネリ化が懸念されるようになりつつある。

願わくば、このNSNの「輪」がさらなる進化を遂げられんことを…。

「終の棲家」講演会報告

6月8日(火)午後2時から、ピアレス2階大会議室で、「有料老人ホームと高齢者専用賃貸住宅」をテーマに、終の棲家を考える講演会が行われました。参加者は96名となり、その内50名がNSNの皆様でした。ご協力に深く感謝致します。

なぜ練馬に高齢者専用賃貸住宅(高専賃)ができないのかという山本会長のご質問に対し、土地提供者の協力が得られないという回答でした。私が非常勤の理事長を務める都市農地活用支援センターでは、練馬で生まれた農業体験農園のシステムをサービスの一環として組み込んだ高専賃(農ある暮らしを楽しむ高専賃)のモデル事業を国交省と協力して立ち上げたいと願っています。高専賃に理解と志のある農家をご紹介頂ければ幸いです。(角地)



オープン参加行事のご案内

★睦会オープンゴルフの会

ハンデ問わない親睦ゴルフです。
9/10 (金) さくらアウト9:50
ノーザン cc 錦が原ゴルフ場
(申込)睦会 横山 3904-3129

毎月開催の次の行事、詳細は
直接下記宛問合せください

☆「やさしいステップから

始める健康ダンスサークル」

60歳からの健康づくりにも最適。

男女とも初心者歓迎です。

見学、電話お待ちしております。

会場・日程は電話で確認願います。

①練馬コース (練馬公民館)

毎週火曜日 10:30~11:45

②石神井コース (石神井庁舎)

毎週水曜日 10:30~11:45

(講師)国際ダンス連盟理事 宮木康隆

(会費) 月4回で2,000円

(問合せ)睦会 山田 6760-3306

☆マジック コミュニケーションズ

初心者対象 家族・友人も歓迎

ELF内藤 6760-2815

☆八展会囲碁クラブ例会

8/29(日)、9/23(木・祭)

八展会 関野 5998-9888

☆いちごの会ハーモニカサークル

毎月第2週火曜日 14:00より

いちごの会 庄村 5936-6058

☆正しい近代日本史を共有する懇談会

毎月第2土曜日16:30~18:30

谷原出張所会議室

ELF 頼永 3904-4564

<問合せ・連絡先 03-5936-6058> 編集責任者/庄村 勝男 (いちごの会)

NSN事務局 & 編集委員/山中 実 (睦会) 丸山敏雄 (虹の会) 古川澄子 (楡の会) 五十嵐将夫 (まるく会)

NSN 定例連絡会 協議メモ

▼H22年5月22日(土)13:30~15:00

確認事項

- ① 第17回セミナー開催
- ② サマーフェスティバル開催日程
- ③ 講演会開催日程
- ④ 会報6月号発行
- ⑤ その他

検討事項

- ① NSN会費改訂
- ② NSN副会長選任方法
- ③ 特別会計・特定事業予算の新設
- ④ 事業別企画委員会 代表・メンバー

▼H22年6月26日(土)13:30~15:30

確認事項

- ① 第17回セミナー開催結果
- ② サマーフェスティバル参加者募集
- ③ 秋のCクリーンウォーク実施計画
- ④ 講演会開催内容
- ⑤ その他

検討事項

- ① NSN会費改訂
- ② 副会長2名選任

編集後記

i Pad を買う行列がTVを賑わし、ブログやツイッターがあたり前と言われる時代になった。本が売れず、月刊誌等は店仕舞いが続く。同じく活字の会報はどうなるのだろう。ホームページが充実すれば要らない、という考え方が出てくるのかもしれない。カラー化は当然のこと、写真もふんだんに載せられ、即時に伝わり、言うことないじゃないか、と。ここで見逃せないのが、会報が定期的に発行・配布されることだろう。同じ時期に、同じ記事を読んで、各々がどう感じるか、そこに意味があるように思う。今年行なったアンケートでは情報、特に他の会の活動の掲載が求められている。NSNの中で「隣は何をする人ぞ？」にならないよう、会報がその一助になりたいものだ。 (〇)